



末廣農場別邸公園内に **久彌の畑** を再現

～～ 岩崎久彌の食に対する想いをつなぐ ～～

岩崎久彌は、太平洋戦争の最中でありながら、農場内で栽培中の作物には手を付けず、別邸の敷地内の松林を切り開き、自ら農作物を育てた逸話があります。

市内小学生と農業者に協力を得て、かつての風景を再現し、久彌の食に対する想いを後世へとつなぎます。

<岩崎久彌の食に対する想い>

久彌は、戦時下で食料が不足する中、農場員が丹精込めて作った農作物を自らが消費することを躊躇い、「自分の食べる分は自分で作る」との思いから、農場内の畑を使うのではなく、自らの屋敷の敷地を切り開いて自家菜園を作ったと伝えられています。

1 再現計画

- ☑市内農業者に協力を得て、農作物の栽培を開始しました。
- 市内小学生によるヒマワリの苗植えを実施します。
- ヒマワリが咲く時期に合わせ、撮影スポットを設置します。
- 市民を対象とした収穫体験を実施します。
- 収穫した農作物は、市内の子ども食堂を運営している団体に食材として提供します。



ヒマワリ



さといも



農業者との作業風景

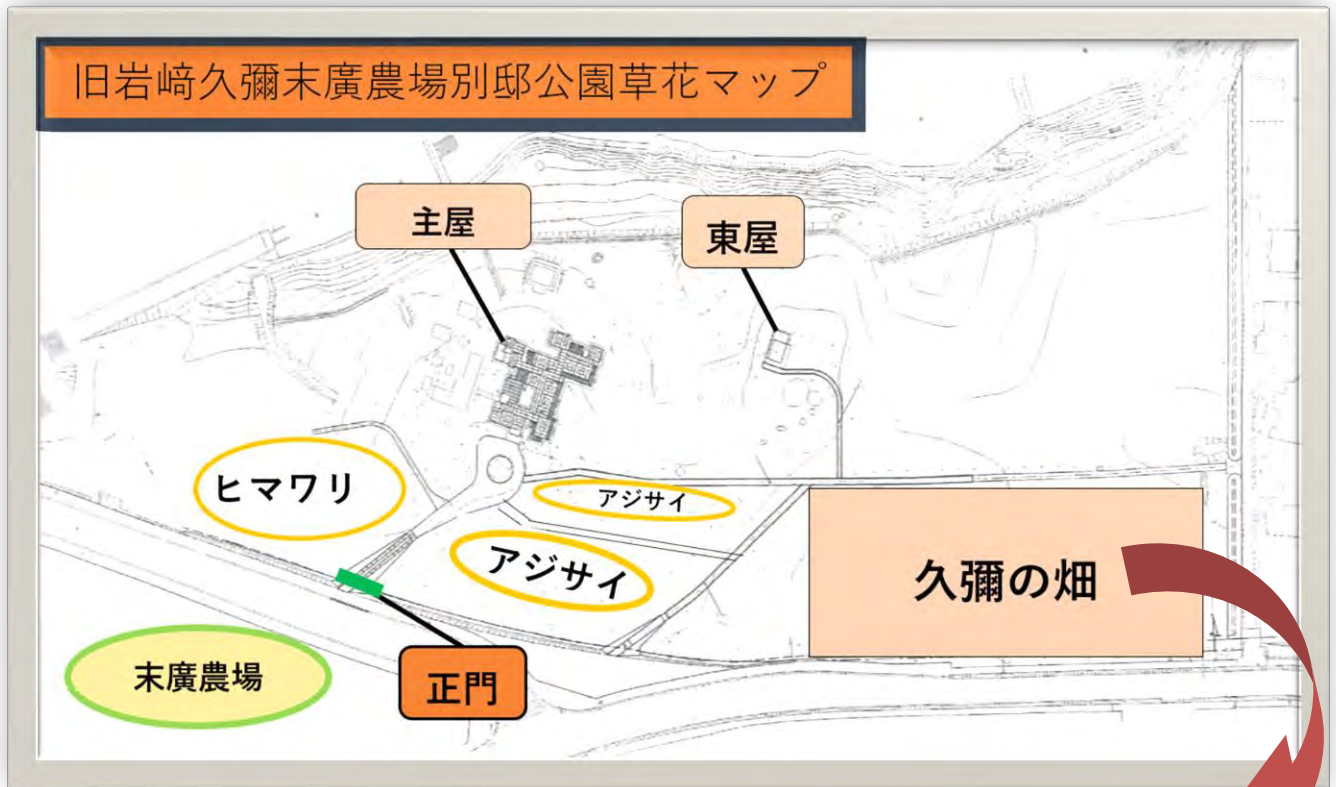


なす

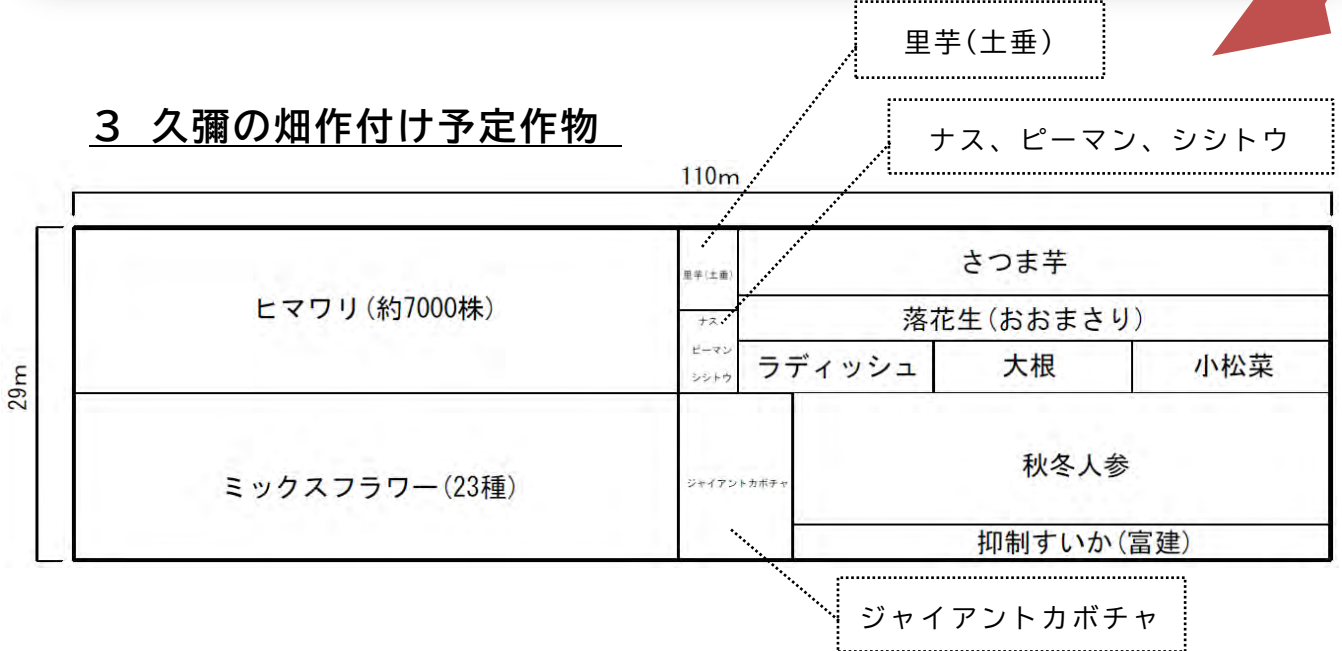




2 旧岩崎久彌末廣農場別邸公園内図



3 久彌の畑作付け予定作物



問合せ先
 担当 経済環境部商工観光課観光振興班
 担当者 渡貫
 電話 0476-93-4942 【直通】
 FAX 0476-93-2101
 メール shoukou@city.tomisato.lg.jp

